

2024年度メリー★ポピンズ 志木駅前ルーム事業計画書

1. 基本方針

保育理念「にんげん力。育てます」

保育目標「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

法人の保育方針に基づき、保育園、地域、保護者が相互にかかわりながら協同し、地域に愛される保育園を目指します。

スローガン：「あなたはどうか」 大人も主体性～考え、学び、動く、自立した集団～

どろんこ会の基本保育や保育園を取り巻く環境を活かした様々な体験活動を行います。生活や遊びを通して保育園は大きなお家として生活しながら、自らやってみたい、やらねばならない役割を知り自立した生活力を身に着けます。乳児期からのTrial&Errorを繰り返し、自分で一番好きなこと、やってみたいことを見つけ主体的に考え、行動できる力が育まれ「就学までに育ててほしい10の姿」の習得を目指します。生きていく中で壁にぶつかりながらも受け止める環境と自ら乗り越えていける見守りの環境を用意します。教えるのではなく自らの体験から学ぶことが大切と考え、やってあげるのではなく、職員が子どもの前を歩いて見せる保育を実践します。

園目標：心も体も思考力豊かに強くたくましく考える子

2024年度 どろんこ会グループが目指す園の姿のポイント

- 1、生活力の体得
- 2、10の姿の体得
- 3、子ども自らがいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定
- 4、鶏を絞めて食す 命をいただく活動の実践

以上の目指す園の姿を全職員が主体的に考え、日常の生活、1日1日の積み重ねを大切、丁寧に関わり、「生活が学び、遊びが学び」を重点取組として生活の中で「生きる力」の基礎を育みます。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

地域、保護者に選ばれる園を目指し、保育の質を高め近隣施設のフロントランナーとなる。

様々な体験を通し、大人も子どもの主体性を育む環境を自ら考え、子どもとともに生きる力の基礎を育む。

1	計画・ねらい	主体性の学びを深める。
	実践予定内容	職員は生活や遊びを通し様々な経験や気づき、学びとして関わる環境を用意し、特別なことを用意するのではなく、保育所保育指針に留意し、遊びが学びの原点となる計画を用意する。園内研修における職員の学びを深め子どもの主体性について環境設定や人的環境を用意する。
2	計画・ねらい	日課の質、環境に質を高め子どもがいつでも経験の選択をすることが出来

		る物的環境を作る
	実践予定内容	体を作る、労働、自然環境、地域との繋がりを意識し、生活力を身につける。子どもを見守り、必要な環境を定期的に見直す。
3	計画・ねらい	インクルーシブ保育の実践
	実践予定内容	チーム保育のさらなる質を高め、大きなお家の中で、子ども同士が育ち合う異年齢保育の実践。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	全職員が保護者の気持ちに寄り添い誠実さ、謙虚さを忘れずに、保育園の役割を果たす。
	実践予定内容	保護者の知りたい情報を丁寧に伝えるお迎え対応。自分の子どもを安心して保育園に任せられるよう危機管理を徹底する。 職員としても子どもの成長は嬉しく、子育てを一緒にさせて頂いている感謝の気持ちを、様々な機会でも子どもの成長を伝えていく。
2	計画・ねらい	専門性を活かした子育て支援・保育参加による共育での確認と子育て相談
	実践予定内容	不安や悩みなど気軽に相談できる保護者との信頼関係を深める。保育参加、ちきんえっぐ、個人面談など気軽に参加できる機会を伝えていく。
3	計画・ねらい	保護者の子育て支援
	実践予定内容	子どもの育ちを共有し保護者や家庭の背景に寄り添い、必要な保護者支援、個別支援を行う。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育（月1回、紙芝居・絵本読み聞かせ等）の充実
	実践予定内容	直路交通公園にて地域を巻き込んで出前保育の実践。保育のアイデアを伝え、子育てのヒントを得る場とする。
2	計画・ねらい	「ちきんえっぐ」寺親屋（年4回）、自然食堂（月2回）、自然学校もしくは芸術学校（月1回）を開催する。園開放による地域子育て家庭の居場所づくり
	実践予定内容	地域の方も保育園を利用しやすい環境を作り、保育園生活を知ることでも子どもの育ちを共有する。ちきんえっぐの取り組み（簡単クッキングや伝承遊び）を通し共育てを実践する。 子育て相談・離乳食相談実施。
3	計画・ねらい	保育園が地域の資源として最大限のサービスを提供する。
	実践予定内容	園開放による保育園と地域の共育て。園だより、ちきんえっぐだより、食育、保健だより、献立表などによる子育て情報の提供。子育て相談随時。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	主体性の理解
	実践予定内容	エリア研修、園内研修を踏まえて主体性についての共通理解を持ち、保育環境、様々な体験や経験が出来る環境を用意する。1年後の子どもの姿を目指し、振り返りと取り組みを繰り返す。
2	計画・ねらい	持続可能な未来を担う子ども達の育成
	実践予定内容	生きる力を育て、生活力の体得を職員が自ら考え実行する。職員一人ひとりが「生活力」を自らに問、育みたい力の目標と取り組みの計画を作成する
3	計画・ねらい	3年目の職員のリーダー育成（チーム保育としてのリーダー育成）
	実践予定内容	園内行事におけるリーダー的役割の実践。リーダー層はチーム保育として任せるのではなく、主体性を引き出し、実現できる助言を実践する。自らの計画が実践され、保育が楽しいと実感できる成功体験や、やってよかったと思えるチーム保育の実現。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	物を大切にする。
	実践予定内容	教材などを無駄なく使える工夫から「もったいない」を伝えていく。
2	計画・ねらい	リサイクル活動
	実践予定内容	園内においてもゴミの分別を子どもと一緒にやる。ペットボトルキャップ集めによるワクチンの提供。「落ち葉銀行」に参加し枯れ葉の堆肥利用、木から紙が出来るまでの経過を知り、自然の大切さを知る。廃棄食材を利用したコンポスト、ヤギの糞や糞の堆肥づくり、命をいただく活動の実践で食の循環を知る。（魚の解体、鶏を締めて食す体験）
3	計画・ねらい	テラスの木陰作り
	実践予定内容	夏の日差しからテラスの床の温度上昇を和らげるための取り組みとして、プランター栽培による「緑のカーテン」作り。

〈6〉子ども自らがいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定

1	計画・ねらい	室内保育環境設定
	実践予定内容	10の姿を踏まえたゾーンの環境を作る。乳幼児の発達にあった玩具、様々な遊びを自ら選び取れる物的環境を作る。大人が決めるのではなく、子ども自身の心情や意欲を受け止め、子どもの主体性を育む。
2	計画・ねらい	10の姿を目指した保育計画の立案
	実践予定内容	保育において様々な体験を用意し、子どもの心情、意欲を受け止め日々の振り返りを成長につながる保育計画を立案する。

3	計画・ねらい	様々なものに触れ、感じ、五感を働かせる経験を重ねる。色々な道具の使い方を知り、生活力を身につける。
	実践予定内容	畑仕事、食育活動、感触遊びを通し、経験を重ねる。洗濯、靴洗い、雑巾縫い、編み物、ナイフで鉛筆削り等の経験。

〈7〉生活力を育む（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	様々な経験の中で人と協力し、助け助けられ自分で自分の命を守る術を知る。
	実践予定内容	生活の中で一人ひとりの気持ちを受け止めながらも協力、協同する大切さを知るための人的・物的環境を用意する。
2	計画・ねらい	遊びが学びの場となり、子ども同士でぶつかり合いながらも試行錯誤を繰り返し、自ら考え行動できる力を養う。
	実践予定内容	職員が前を歩き、子どもが自らやりたい、やってみる、失敗や成功体験を繰り返す人的環境を用意する。大人は否定的な言動はせず見守る保育の実践。
3	計画・ねらい	生活のために必要なことは子どもも一緒に行く。
	実践予定内容	「大人が見せる」の実践を通し生活の中で出来ることは自分たちです。米研ぎ、布団敷き、清掃活動、食材の下準備、食事の準備、洗濯干しなど家庭での手伝いが家族としての仕事、役割を伝えていく。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
3人	6人	6人	6人	6人	6人	33人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	8人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	0人

パート スタッフ	保育士	2人	事務	1人	嘱託医	2人	
-------------	-----	----	----	----	-----	----	--

3. 運営方針

〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月2回 20分	保育運営について・園内研修
給食運営会議	月1回	喫食状況・食育活動・個別対応について
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・他園の事故記録の検討
ケース会議	月1回	要支援児についての共有・検討
行事会議	適宜	ねらいと内容の確認
担任会議	適宜	保育内容の確認・保育運営に関する確認・検討

〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人内の運営方針共有
施設長勉強会	月1回	施設長研修
食育会議	年4回	施設長、調理員が参加し食育方針の共有と検討
保健会議	年4回	保健活動の取り組み・感染症対策等の共有
主任会議	月1回	園運営に伴うリーダー育成
子育ての質を上げる会議	月1回	保育の質を高める勉強会

〈3〉 各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の衛生管理や備品の管理・清掃確認・感染症発生時の対応・検便
安全対策係	安全な環境整備・事故防止点検・設備点検・事故防止委員会の開催

防火管理者	消防計画の作成・避難訓練計画の立案・設備の防火管理
食品衛生責任者	食品の衛生管理・調理室の衛生管理・給食会議の開催・衛生点検
畑係	畑の管理・作物の植え付け、収穫の確認・飼育全般の管理
写真係	個人情報の確認・写真販売・卒園アルバム写真整理

〈4〉行事別系の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	地域、保護者との連携と計画、実行
地域担当	地域との連絡係（商店街ツアー・老人施設）

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒が安定され、好きな遊びを十分にできるよう環境を整える。 ・遊ぶ、食べる、寝る、の基本的な生活習慣を身につけ、遊びや生活を通して、けがをしない体の基礎を養う。 ・歩行や言葉の獲得が得られ、遊びや生活の中で育まれる環境を作る。 ・保育者との信頼関係の中で、安心して過ごす。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通じて心身ともに意欲と満足感が持てる環境を保障する。 ・周囲への興味関心を受け止め、体を十分に動かしながら丁寧に関わる。 ・戸外活動が更に発展し、五感で感じる遊びを十分楽しむことができる。
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢保育の中で自分の好きなこと、好きな場所で遊び込める環境を整える。 ・基本的な生活習慣の確立に向け、個々の発達状況に応じて丁寧に関わる。 ・興味関心をもったことを主体的に探究し発見や気づきを楽しむ。 ・生活の中で出来ることは自分です。
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別やグループ活動を多くし、課題解決を行い、相手の気持ちが理解しながら多くの異年齢の友だちと関わる。 ・異年齢での活動を通じて自分の成長を感じながら、進級することに喜びを感じられるような関わりを心がける。 ・様々な体験や経験を重ね、リズム体操、音楽、身体表現、絵画、製

		作、言葉など様々な表現で豊かな心と体を育てる。 ・自分の言葉で自分の気持ちを表現できる。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・ 2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

【食育の指針】

「食を営む力」の育成に向け、その基礎を養う。

食欲のある子は意欲のある子。たくさん遊んでたくさん食べる。自分から食べることを楽しみ、食を通して10の姿を育てる。

1	計画・ねらい	お腹がすくりズムの持ち、一緒に食べたい人がいる子ども
	実践予定内容	戸外遊びを保障し、お腹をすかし、自ら選び、好きな場所、好きな人と食べたいと思える環境を用意する。バイキング給食。
2	計画・ねらい	食事作り、準備に関わる子ども
	実践予定内容	出来ることは自分し、できないことは手伝ってあげるなど大きなお家を活かしていく。乳児においても自分で選ぶ環境を作る。畑仕事。毎日の米研ぎ、野菜の皮むきなどを毎日の労働とし、食に関する全ての物、人に感謝の気持を持つ。
3	計画・ねらい	命をいただく体験や畑仕事を日課とし労働の大切さを感じる。食べ物を無駄にせず、すべての人への感謝の気持を持つ。
	実践予定内容	鶏を絞めて食す、魚を捌いて食す体験。栄養と体の仕組みを知る。労働と言う意識を持ち、自分たちで育てた食材や給食食材を無駄にすることなく使い切る。使い切れないものは保存食や調理の工夫。コンポスト作り。移動保育による堆肥づくりで食の循環を知る。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	歯磨き指導・早寝早起き朝ごはんなど生活の中で身につけていきたい 保健指導（年間保健計画参照）・5才児性教育
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 7月頃・・・手足口病・アデノウイルス 11月頃・・・感染性胃腸炎、インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・保護者依頼があれば随時受け入れ／事務所にて保管 アレジオン・・・3名より預かり済み／事務所にて保管 エピペン・・・1名より預かり済み／事務所にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在9名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員については3月31日までに受講予定
AED使用できるスタッフ （AED設置施設のみ）	AED未設置のため該当なし
その他保健に関する取組	市内合同研修・救急救命講習受講による心肺蘇生研修 感染予防に関する研修（嘔吐処理、おむつ交換手順、感染症を知る） 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・ 手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日

	フロン点検（簡易）	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

- 環境にかかわりながら自分で考え、主体的に活動できる環境を作る。
- 幼児も乳児も戸外活動を十分に行う。
- 衛生的な生活環境を作る。

1	計画・ねらい	年齢にあった室内環境が用意される
	実践予定内容	目的にあったコーナーが用意され、異年齢で好きな場所で遊び込める環境が用意されている。子どもが片付け易い仕組みが整えられている。子どもが自由に選択できる環境を用意する。
2	計画・ねらい	人的環境に留意する
	実践予定内容	子どもの心情や態度を見守り、子どもがやりたい事、伝えたいことが出せる環境を用意する。 保育者の声の大きさ、言葉がけに十分配慮し、主体的に行動し、自ら聴く、話す力が育まれる
3	計画・ねらい	移動保育や戸外活動を活かした保育。
	実践予定内容	火、水、土に触れる機会を日常的に用意する。畑仕事、生き物世話などを通し、自分の役割を自覚し、責任を持つ。様々な道具に触れ自ら危険に配慮できる力を養う。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	製作棚	幼児室	毎日
2	円形椅子	幼児室	毎日

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	防災：避難消火訓練（火災・地震・水害・通報等、毎月） 広域避難訓練参加 防災用品の定期点検
2	実践予定内容	不審者対策：不審者侵入訓練（年2回） 施錠の確認と徹底 不審者情報の収集と周知、笛の携帯 送迎者登録（代理送迎者）の確認
3	実践予定内容	怪我、事故防止：環境整備、ハザードマップの作成、見直し。 事故防止委員会 （ヒヤリハット、インシデント、事故報告書による検討会議） プール事故防止訓練（6月） 設備点検、事故防止点検、 5分毎の生存確認 園外活動中の人数確認と職員の配置確認
4	実践予定内容	光化学スモッグ：自治体からの光化学スモッグ発生の情報共有 光化学スモッグの知識を身につけ、警報、注意報発令による対応を行う。
5	実践予定内容	自然災害：災害発生時の避難訓練 広域災害時避難場所の確認 河川の状況収集に務める。
6	実践予定内容	手作り玩具の点検



6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

保育の実習生、中高生の体験学習、ボランティアや職場体験の方を積極的に受け入れる。
市内職業体験においては、再度受け入れを再開する。

1	実践予定内容	養成校の実習生受け入れ
2	実践予定内容	福祉学園ボランティア受け入れ
3	実践予定内容	中学校職業体験受け入れ

7. スタッフ育成と研修計画

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> ■ 入社時オリエンテーション ■ 現場OJT研修 ■ 保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む) ■ コンピテンシー研修 <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新人社員研修 <ul style="list-style-type: none"> → 会場研修 → 系列園保育実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全社員研修 (年1回) ■ 園内研修 (月1回以上) ■ 保育スキル研修 (エリア別) ■ リーダー養成研修 (9~2月) ■ 業務改善研修 (月1回) (= 保育の質を上げる会議) ■ 施設長勉強会 (月1回) ■ デンマークインターンシップ (年1回) ■ コンピテンシー自己採点 (月1回) ■ 人権チェック (4月・10月) ■ 外部研修 ■ 上級救命救急資格取得講習 <p>←避難訓練研修</p>

〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

全職員が主体性について学び、子どもの主体性を育む取り組みについて考える。

園長大学®・保育士大学講座の活用

コンピテンシーの自己評価から課題改善の検討を毎月行う。

保育の振り返りを全職員で共有し発達に合わせた保育計画の立案。

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月1.2日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 主体性とは？ ③ 保育品質マニュアル確認 ④ 虐待防止研修	主体性を育むための認識合わせ 虐待について再確認 人権チェック
5月27.28日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 保育環境の設定 ② 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	環境設定について
6月24.25	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点	振り返りと課題の抽出

日		② 主体性を育むための課題 ② 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	
7月29.30 日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 生活力について ③ 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	自分で出来ることは自分です
8月26.27 日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	保育の課題の抽出と検討
9月26.27 日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	保育の課題の抽出と検討
10月28.2 9日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 下期の振り返り ③ 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	虐待について再確認 人権チェック 保育の課題の抽出と検討
11月28.2 9日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 利用者アンケート検討 ③ 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	保育の課題の抽出と検討 保護者の立場になって考える
12月23.2 4日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	保育の課題の抽出と検討
1月20.21 日	13:30~14:30	① コンピテンシー自己採点 ② 1年振り返り ③ 子育ての質を上げる会議 課題の取り組み	事業計画の振り返り
2月14日	18:00~21:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議1	次年度に向けての園保育方針の共有
3月2日	9:00~18:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議2	次年度に向けた保育計画立案

・エリア研修（朝霞、志木地区合同開催）

① 「エリアで学び合う世代別職員研修」

内容：年代別、分野別に分かれて集まり、共通の課題解決や学びを通じて地域全体の保育の質の向上と地域コミュニティの活性化を目指す。

世代別、分野別の意見交換や研修を通じて、より実践に即した保育の力を身に着ける。

他園の職員と相互に学び合う中で、自園の課題を見つけ解決に向かう力を身に着ける。

日程：月に1度、計8回予定（4月～11月）

②「エリア学ぶさくらさくらんぼリズムの共通理解」

内容：講義と実技研修。体を動かしながら共通理解を深めより質の高いさくらさくらんぼリズムを身に付ける。その後、各園に下ろし、職員に伝えて行く。

講師：古川みどりさん

日程：4月～6月で2回開催

時間：18:30～20:00

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デモンクインターンシップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

〈5〉職員による園内研修

園の課題を出し合い、職員間交流として研修を立案、開催しリーダーとしての役割と自信につなげる。研修開催者になり、主体的な学びと保育に質を上げる。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

地域に開かれた保育園を目指すべく、高齢者、小学校、近隣の保育園との交流を行う。地域に愛され地域の資源として活用していただける仕組みや環境を整え、在宅子育て家庭への支援を行う。子育てに喜びを感じられる保護者支援を行う。子育て相談の充実。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：直路交通公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	近隣老人施設訪問、敬老会、小学生との交流、ボランティアや職業体験の受け入れなど。中学、高校訪問
異年齢交流	移動保育、他園交流、合同運動会
地域拠点活動	ちきんえっぐ、芸術学校、自然学校、寺親屋、どろんこ祭り
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

以下の計画について、小学校と相談・協議を4月末頃より開始する。前年度同様に畑を借りている志木小学校を中心に連携を進めて行くが、他校とも交渉し連携可能な小学校を増やして行く。アプローチプログラムの作成とスタートカリキュラムの理解を深め、スムーズな小学校への接続を行う。「5歳児と小学校1年生との年間連携計画および報告書」を作成。幼保小連携協議会（県、市）研修に参加し保育園と小学校が子どもの育ちを共有する。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月1日（月）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
5月頃	市内小学校	2名予定	授業見学・交流	幼保小連絡会による職員間交流
6月頃	市内小学校	6名予定	授業参観	子ども間交流
9月頃	志木小学校	6名予定	運動会練習見学	子ども間交流
2月頃	市内小学校	1名予定	就学児の引き継ぎ	職員間交流

10. 要支援児計画

〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

個別支援計画の作成

該当者があれば以下の対応を実施する。

〈2〉 毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：12名予定)

子どもの姿を共有し、児の対応を統一することで成長につなげていく。

〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

個別支援計画、保育指導要録をもとに小学校への引き継ぎを行う。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎月各2回 9:30～11:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎月各1回 9:30～11:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：直路交通公園にて開催

12. 園運営の向上

〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉 園による自己評価の実施

2025年1月15日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：12時00分

自己評価実施予定者：施設長、主任、園事務

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3.3 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	全職員が子どもたちの育ちを共有し発達に則した保育計画の作成。育ちを共有してチーム保育を行う。 小学校1年生を知り、逆算した保育を0歳児から考察していく。 生活や遊びの中で必要な経験とし伝えていける職員育成。 子育てに喜びを感じられる子育て支援
	振り返り	職員間で子ども一人ひとりの発達と育ちを共有した。インクルーシブ保育に限らず「気になる子」特別に見ることなく、発達の差の大きい乳幼児期に一人ひとりの理解を深めることができた。子どもの成長や変化、関わり方を保護者に伝えることで職員も保護者もともに喜びを感じることができた。一人ひとりの発達や心情を理解することで子ども自身が無理なく育つ環境を用意することができた。小1を知るための研修や授業参観など小学校とのつながりを深めたが、0才児からの逆算した考察までには至っていないが安心していられる信頼関係や0才児であっても主体的に関わろうとする姿を認めていくことが大切と考えた。乳幼児期からの関わり、育てたい心情、意欲こそがその後の育ちに影響することを全職員が意識していきたい。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	(生活力と10の姿の体得) 職員も主体的に「生きる力」を実践し、子どもの思いが豊かに生まれ社会の一員として出来ること、役に立つ自分を知り自信を持って生活出来る力が育つ。遊びや生活の中で「10の姿」が生まれ育ちの基礎を身に付けていく。子どもも大人も一人ひとりを理解し認め合う力のある職員集団。地域との交流も深まり地域とも繋がり強い園となる。
	重点施策	毎日の生活の中で様々な体験が出来る環境を用意し、生活の中での学びや失敗、成功体験を通し生活力＝「生きる力」のある子を目指す。職員の思考を広げ、生活や遊びの幅を広げ、「10の姿」を意識した保育計画の立案。マンション型の保育園だからこそ戸外活動や移動保育を重視し、様々な体験の機会を職員自ら実践する。利用しやすい立地を活かす。相手の立場や発達を理解し一人ひとりの気持ちは受け止め、必要に応じた支援の実践。近隣保育園のフロントランナーとなる基礎として、どろんこ会の目指す保育の再確認と実践。 地域にも目指す姿を共有し「どろんこ会の育てる6つの力」を保育園の

		こどもの姿として公開する。法人内志木エリアの園繋がりを深めていく。
2025年度	目指す姿	(家族の一人として) チーム保育による「大きなお家」、同規模の保育園のモデル園となる。
	重点施策	異年齢で生活する大きなお家で互いが育ち合う人的、物的環境が用意される。毎日の日課、基本活動、生活を通して、試行錯誤しながら学び、一人ひとりの生活力が向上していく。家族の一人として自分のすべき役割を知り役に立つ自分に自信を持って生活する。主体的になって行動し、人との関わりで学び、考える力のある子ども、大人の集団となる。
2026年度	目指す姿	(社会の一員として) 保育園が地域の中で認められ、地域貢献の出来る園。 子育て支援の拠点として地域資源となる保育園。大人や子どもは地域の中での仕事としての役割が明確になり、地域の中で役に立つ存在になり、人間関係が深まり心豊かで愛される存在となる。
	重点施策	子育て支援を全職員が実践し、地域からも信頼される。地域の「困った」「助かる」の声を拾い自分たちに出来る事を実践していく。地域交流、商店街ツアー、高齢者施設とのつながりをより深めていく。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 志木駅前ルーム施設長 古賀 文子